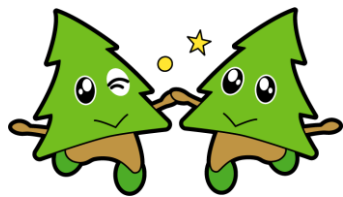


あきたスギッチファンド通信



No. 7 2011年7月29日発行

特定非営利活動法人
あきたスギッチファンド

TEL 018-839-8941

FAX 018-829-5803

E-mail : madoguchi@sugicchi-fund.jp

ファンドの状況

(平成23年度収入済額 7月26日現在)

| | |
|--------|---------------------|
| 寄付金合計 | 6, 169, 640円 |
| 会費合計 | 222, 000円 |
| ファンド総額 | <u>6, 391, 640円</u> |

東日本大震災からの復興の道筋がなかなか見えず、また放射能汚染の拡大も重なって、全国中に何か不安感が漂っているように思います。そんな中、被災者のために目の前にある課題に取り組む市民活動団体が成果を上げているというニュースにスギッチファンドと関わりのある団体があり、うれしくなります。

今年度のファンドの寄付金は、被災者支援を指定したものが多く、三国商事株式会社様からの5百万円、募金活動 251,211円と、寄付金全体の85.1%を占めています。

7月10日、あきたスギッチファンド・チャリティグラウンドゴルフ大会を太平山リゾート公園

グラウンド・ゴルフ場で開催しました。秋田市グラウンドゴルフ協会、太平山観光開発株式会社、その他企業から全面的なご協力を得て、実施することができました。参加者は204人、グラウンドいっぱいに広がってプレーする人々のパワーに圧倒される思いでした。参加者の皆さんから10万円のご寄付を頂きました。

7月26日にはアサヒビール株式会社様から昨年に引き続いて「環境の保全」を分野指定して25万円をご寄付頂きました。その他、社会貢献型自動販売機やスギッチ商品の売上げからのご寄付、定額寄付、秋田県庁の有志の皆様からのご寄付なども、昨年同様頂いております。今後とも皆様のご支援をお願い申し上げます。

6月15日、NPO法が改正されました。それに伴って所得税法（国税）と地方税法の一部が改正されました。認定NPO法人の認定が受けやすくなる、寄付税制が改正されたことで、企業や個人からの支援が期待できるなど、NPO法人にとっては追い風となります。私たちも良く勉強し、チャンスを活かして参りたいと考えております。



あきたスギッチファンド・チャリティグラウンドゴルフ大会



アサヒビール株式会社様からの寄付金贈呈



東日本大震災支援の募金箱

第5回あきたスギッチファンド助成事業

第5回の助成事業は、秋田県の補助金300万円を原資として、本ファンドの10万円コース9件、30万円コース7件を、5月15日から募集しました。6月15日の閉め切りまでに10万円コースに10件、30万円コースに10件の応募が寄せられました。

7月16日の選考委員会は午前11時に開会し、午前中10万円コースについて協議しました。午後から30万円コースに応募された10団体によるプレゼンテーションを行い、それを受けて別室で選考委員の方々が協議し、午後4時40分になって10万円コース7件、30万円コース6件の助成先の発表を行いました。

採択されなかった事業には、素晴らしい企画であるがスギッチファンドの趣旨に照らして該当しないのではないかとというもの、事業計画をもう少し煮詰める必要があるのではないかとというものなどがあり、ちょっと残念に思いました。

次回の募集は11月初旬、公開審査会は2012年1月22日を予定しています。

助成先一覧

本ファンド10万円コース

応募総数10件の中から9件を採択する予定でしたが、選考委員会で審査基準に照らして協議の結果7件に決定しました。

| 団体名 | 事業名、事業概要 |
|-----------------|---|
| 大仙若者会議 | 大曲の花火「涼」風鈴 大曲駅から花火会場への通り道「花火通り商店街」の店舗に風鈴を吊り下げて「涼」の演出をし、観光客に風鈴の音色による安らぎの空間を提供する。 |
| 秋田城跡ボランティアガイドの会 | ガイドの質の向上と地域の活性化 多くの秋田城跡の見学者に適切な案内をするため、会員を増やすとともに、秋田城の時代の知識を高める研修会を実施する。 また、古代米栽培を通じて地域の学校に秋田城に関心を持ってもらったり、史跡探訪や東門まつりなどで地域と連携し、地域の活性化に努める。 |

| | |
|---|--|
| 秋田囲碁普及プロジェクト P I K A G O | P I K A G O 囲碁フェスティバル 年齢性別を越えて気軽に参加・交流できるお祭り形式の囲碁イベントを開催する。明るい雰囲気の中で囲碁を楽しんでもらい、囲碁にある「難しそう」「お年寄りがするゲーム」というイメージを払拭する。 |
| 康楽館友の会 | 康楽館友の会組織強化事業 小坂町のシンボル康楽館を守る町民有志の会「康楽館友の会」は発足から20年以上を経て、会員の減少、高齢化に悩んでいる。会の活動状況の紹介、康楽館の歴史や保存・活用の意義を載せた会報を発行し、会活動の活性化、会員の増加、引いては地域の活性化を図る。 |
| カラフルマザーズ | 食文化研修会 平成22年に合川駅近くに農家レストラン兼交流スペース「ほっと駅かたるべ」をオープンし、地産地消のメニューを提供している。さらに新メニューを開発し地産地消をすすめるために、内陸線で結ばれている仙北地域の食材や調理法を研修し、地元の農産物の活用を推進する。 |
| 十人十色なカエルの会 | ペアレントトレーニング講習会 発達障害の子どもたちの親や先生方、支援者にペアレントトレーニングの講習会を実施する。受講することによって、子どもの行動の理由を考え、その行動に対してきちんと対応して、より良い方向に指導することができ、子どもが自信をもつことができるようになると期待される。 |
| 「秋田Book Boat」 実行委員会 | 秋田Book Boat 本の愛好家たちがゆるやかにつながる「一箱古本市」、秋田の地酒を酌み交わしながら本について対話し交流する「百杯会」などのイベントを多彩に開催し、秋田県民に読書を推進し、秋田県に本を楽しめる文化を強く根づかせる。 |



スギッチファンドの活動紹介



選考委員のみなさん



応募団体のプレゼンテーション

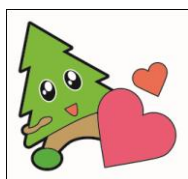


選考結果の発表

本ファンド30万円コース

応募総数10件の中から7件を採択する予定でしたが、書類審査、公開審査を経て選考委員会で協議の結果6件に決定しました。

| 団体名 | 事業名、事業概要 |
|----------------------------------|--|
| 特定非営利活動法人 We Love あきた歌のネットワーク | 第2回あきた歌の輪コンサート事業 秋田県民歌、県民の歌を中心に秋田ゆかりの歌、心の歌、思い出の歌を大合唱する第2回あきた歌の輪コンサートを10月10日秋田県民会館で開催する。秋田の歌を子どもたちの世代に歌い継ぐことで、秋田県民の誇りと自信を取り戻す。歌の翼を借りて県民同志の絆、連帯感を築く。 |
| 一般社団法人 あきた地球環境会議 | 「Bickyのケロワットアクションシート」で秋田県全域節電プザービート! 県民に、より楽しく親しみを持って「節電」に取り組んでもらえるように、プロバスケットボールクラブ「秋田ノーザンハピネッツ」のマスコットキャラクタービッキーを使って「Bickyのケロワットアクションシート」を作成する。節電の取組項目を明確化し、効果的に節電に取り組めるように工夫し、環境関連イベント等で配布する。 |
| 「秋田・避難者福島県人会」(仮称) 設立準備会 | 「秋田・避難者福島県人会」(仮称)設立大会開催事業 東日本大震災に関連して福島県から秋田県内に避難してきた人々に、秋田での生活をより充実したものとしてもらうために、「秋田・避難者福島県人会」(仮称)設立大会を開催する。設立大会では、避難者同士の情報交換、交流を図る。また会の設立を機に避難者のネットワークを形成し、避難生活の拠り所のひとつとしてもらう。 |
| 秋田市立秋田商業高等学校 ユネスコスクール班 | NGO連携による高校生の国際感覚養成事業 地元NGO等の主催するスタディツアーならびに国際理解・協力に関する各種イベント、講座への積極的な参加によって、秋田商業高校生の国際理解、国際協力に対する意識の向上、地域社会におけるボランティア活動意識の醸成を図る。 |
| NGO RASICA | 発酵食品を使った子供の栄養改善プロジェクト ネパールの孤児院では、資金難等から子どもの栄養のバランスが悪い状態が続いている。秋田の発酵技術を利用した「米麴」は、子どもの栄養バランスを改善し健康状態を良好に保てることから、現地の麴菌マルチャを使ってその作り方を指導し、子どもの栄養改善を図る。 |
| YAC秋田分団 | 第7回能代宇宙イベント水ロケット大会参加補助事業 YAC秋田分団では水ロケットやモデルロケットなどの工作や科学実験など宇宙教育活動を通して子どもたちの科学技術への興味・関心を高める活動をしている。能代市で開催される水ロケット大会に、参加者を募るが、今回は秋田県内に避難している子どもたちの参加を積極的に呼びかける。秋田の子どもたちと避難してきている子どもたちに科学技術やものづくりの面白さ、楽しさを実感してもらうとともに、相互の交流を促す。 |



あきたスギッチファンド Q & A

Q：ファンドの状況に寄付金と会費とがありますが、取り扱いにどのような違いがあるのでしょうか。

A：会費はスギッチファンドの趣旨に賛同して会員になった方からいただくものです。会費は個人会員が年3,000円、団体会員が年5,000円です。会費は法人の運営費として使用させていただきます。

寄付金は1口1,000円以上を随時受け付けております。これが市民活動団体の事業への助成金の原資となりますが、この25%は法人の運営費として使わせていただいております。